

生活行動に関する結果

1 学習・自己啓発・訓練

千葉県に住んでいる10歳以上の人のうち、過去1年間に何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った人は230万9千人で、行動者率は41.1%となっている。これは全国平均の36.9%を上回っており、前回調査の平成23年と比べて3.4ポイントの増加となっている。行動者率は女性よりも男性の方が高く、男女とも平成23年より増加している。〔表1〕

表1 「学習・自己啓発・訓練」の行動状況

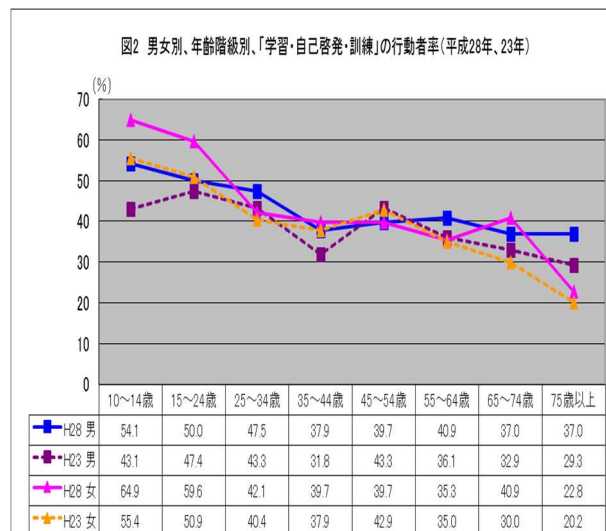
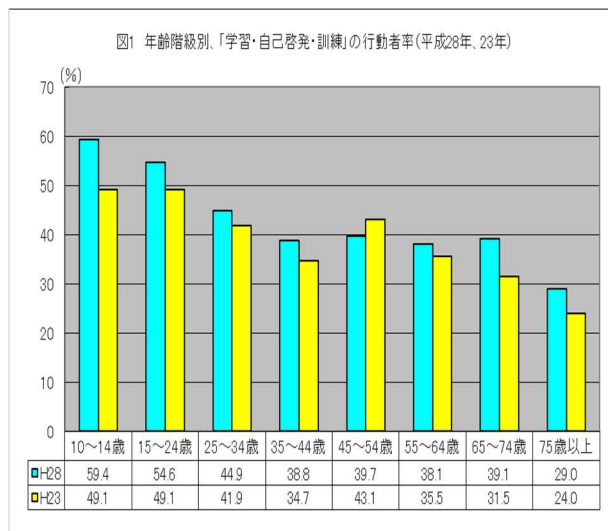
	10歳以上推定人口（千人）			行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	5,614	5,584	30	2,309	2,108	201	41.1	37.7	3.4
男	2,795	2,783	12	1,165	1,057	108	41.7	38.0	3.7
女	2,819	2,801	18	1,144	1,051	93	40.6	37.5	3.1
男女差	-24	-18	-6	21	6	15	1.1	0.5	0.6

（参考）行動者率の全国順位

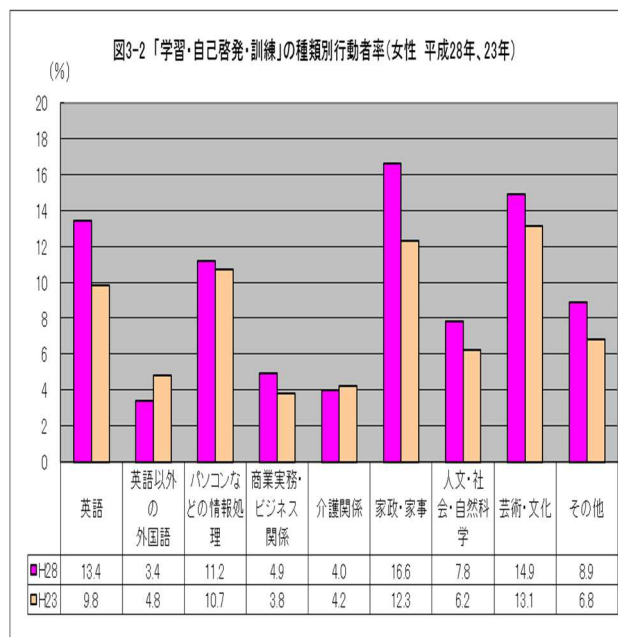
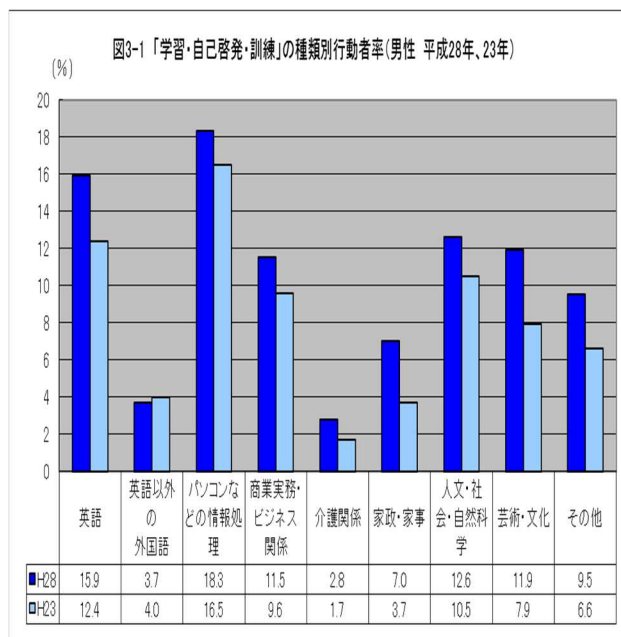
	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
平成28年	東京都	46.2%	神奈川県	43.9%	千葉県 京都府	41.1%	3位	41.1%	36.9%
平成23年	東京都	44.7%	神奈川県	42.1%	滋賀県	39.2%	6位	37.7%	35.2%

年齢階級別に「学習・自己啓発・訓練」の行動者率をみると、10～14歳で59.4%と最も高くなっている。平成23年と比較すると、10～14歳で10.3ポイントと最も増加しており、45～54歳で3.4ポイントと最も減少している。〔図1〕

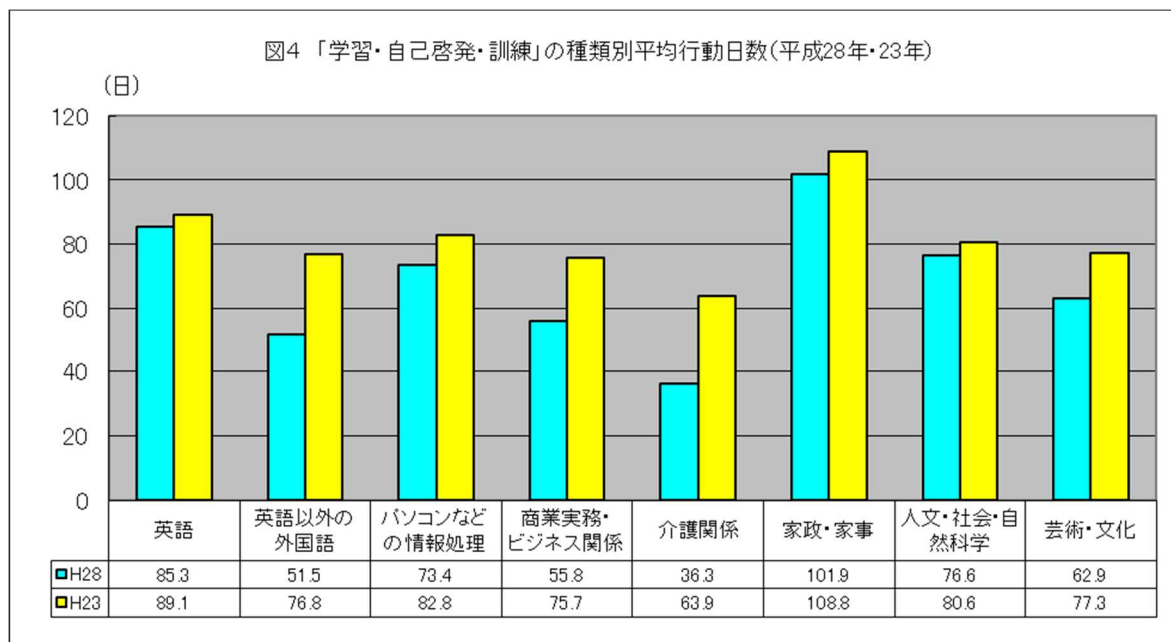
これを男女別にみると、最も割合が高いのは、男女とも10～14歳（男性54.1%、女性64.9%）であり、最も低いのは、男性が65～74歳及び75歳以上の37.0%、女性が75歳以上の22.8%であった。平成23年と比較すると、最も増加しているのは男性が10～14歳の11.0ポイント、女性が65～74歳の10.9ポイントであり、最も減少しているのは、男女とも45～54歳（男性3.6ポイント、女性3.2ポイント）であった。〔図2〕



「学習・自己啓発・訓練」の種類別の行動者率を男女別にみると、男性では平成 23 年と同じく「パソコンなどの情報処理」が最も高い(18.3%)が、女性では平成 23 年に最も高かった「芸術・文化」の 14.9%に対し、「家政・家事」が 16.6%と最も高くなっている。〔図 3-1・3-2〕



「学習・自己啓発・訓練」の種類別の1年間の平均行動日数をみると、「家政・家事」が 101.9 日と最も多い。平成 23 年と比較すると、全ての種類で平均日数が減少しているが、中でも「介護関係」は 27.6 日と最も減少している。〔図4〕



2 スポーツ

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は 402 万1千人で、行動者率は 71.6%となっている。これは全国平均の 68.8%を上回っており、平成 23 年と比べて 5.6 ポイントの増加となっている。行動者率は女性よりも男性の方が高く、男女とも平成 23 年より増加しており、男性の増加率が大きいことから男女差は拡大している。〔表2〕

表2 「スポーツ」の行動状況

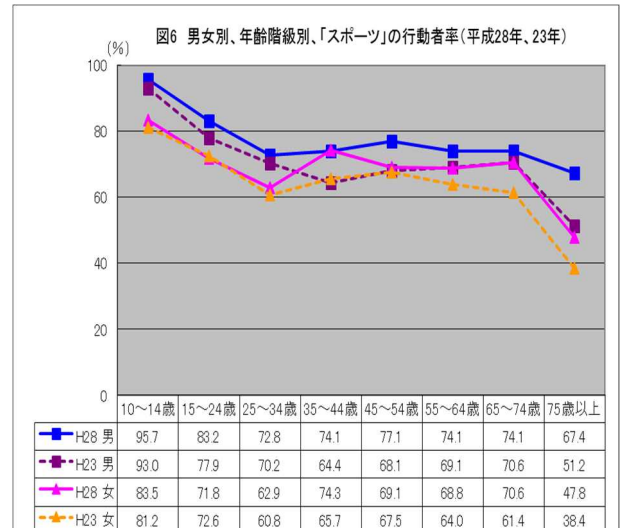
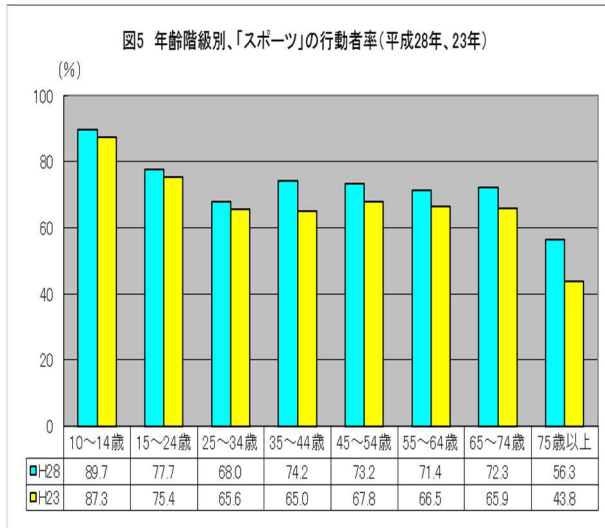
	10歳以上推定人口（千人）			行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	5,614	5,584	30	4,021	3,687	334	71.6	66.0	5.6
男	2,795	2,783	12	2,119	1,927	192	75.8	69.2	6.6
女	2,819	2,801	18	1,903	1,760	143	67.5	62.8	4.7
男女差	-24	-18	-6	216	167	49	8.3	6.4	1.9

（参考）行動者率の全国順位

	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
平成 28 年	東京都	75.7%	埼玉県	72.6%	神奈川県	72.4%	4位	71.6%	68.8%
平成 23 年	東京都	68.6%	滋賀県	67.9%	埼玉県	66.9%	5位	66.0%	63.0%

年齢階級別に「スポーツ」の行動者率をみると、10～14 歳が 89.7%と最も高くなっている。平成 23 年と比較すると、全ての年代で行動者率が増加しており、特に 75 歳以上で 12.5 ポイントと最も増加している。〔図5〕

これを男女別にみると、男女とも 10～14 歳が最も割合が高く（男性 95.7%、女性 83.5%）、ほとんどの年代で男性の行動者率が女性を上回っているが、35～44 歳では唯一女性が男性を上回っている（男性 74.1%、女性 74.3%）。平成 23 年と比べると、最も増加しているのは、男女とも 75 歳以上（男性 16.2 ポイント、女性 9.4 ポイント）であり、減少しているのは、女性の 15～24 歳の 0.8 ポイントのみとなっている。〔図6〕



「スポーツ」の種類別の行動者率を男女別にみると、男女とも「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、上位3位を平成23年と比較すると、全種類において行動者率が増加している。

また、年齢階級別にみると、10～14歳では「水泳」、15～24歳では「ボウリング」、25歳以上では、「ウォーキング・軽い体操」が最も高くなっており、さらに男女別にみると男性の10～14歳の「サッカー」、15～24歳の「ボウリング」、女性の10～14歳の「水泳」以外はすべて「ウォーキング・軽い体操」が最も高くなっている。〔表3〕

表3 男女別、年齢階級別「スポーツ」の種類別行動者率の順位(平成28年) ※「その他」を除く

		1位		2位		3位	
総数	総数	ウォーキング・軽い体操	43.9% H23:39.0% 1位	器具を使ったトレーニング	15.3% H23:10.5% 4位	ジョギング・マラソン	14.2% H23:10.4% 5位
	10～14歳	水泳	47.4%	ジョギング・マラソン	39.1%	サッカー	33.4%
	15～24歳	ボウリング	34.2%	ウォーキング・軽い体操	30.9%	ジョギング・マラソン	25.7%
	25～34歳	ウォーキング・軽い体操	37.6%	ボウリング	21.2%	ジョギング・マラソン	20.2%
	35～44歳	ウォーキング・軽い体操	40.7%	水泳	17.8%	ボウリング	17.6%
	45～54歳	ウォーキング・軽い体操	44.3%	器具を使ったトレーニング	17.7%	ジョギング・マラソン	14.0%
	55～64歳	ウォーキング・軽い体操	52.9%	器具を使ったトレーニング	16.9%	ゴルフ	13.6%
	65～74歳	ウォーキング・軽い体操	56.8%	登山・ハイキング	14.3%	ゴルフ器具を使ったトレーニング	12.7%
	75歳以上	ウォーキング・軽い体操	44.7%	器具を使ったトレーニング	9.7%	ゴルフ	8.1%
男	総数	ウォーキング・軽い体操	39.8% H23:34.5% 1位	ジョギング・マラソン	18.4% H23:13.8% 4位	ゴルフ器具を使ったトレーニング	17.0% 「ゴルフ」 H23:15.9% 2位 「器具」 H23:11.0% 9位
	10～14歳	サッカー	51.5%	水泳	49.0%	ジョギング・マラソン	42.1%
	15～24歳	ボウリング	40.6%	ジョギング・マラソン	29.6%	野球	25.9%
	25～34歳	ウォーキング・軽い体操	32.9%	ジョギング・マラソン	26.3%	ボウリング	24.9%
	35～44歳	ウォーキング・軽い体操	32.1%	ジョギング・マラソン	19.9%	ボウリング	18.5%
	45～54歳	ウォーキング・軽い体操	39.0%	器具を使ったトレーニング	19.8%	ゴルフジョギング・マラソン	19.2%
	55～64歳	ウォーキング・軽い体操	49.7%	ゴルフ	22.6%	器具を使ったトレーニング	15.4%
	65～74歳	ウォーキング・軽い体操	55.3%	ゴルフ	22.2%	登山・ハイキング	14.5%
	75歳以上	ウォーキング・軽い体操	49.4%	ゴルフ	15.9%	器具を使ったトレーニング	11.9%

		1 位		2 位		3 位	
女	総数	ウォーキング・ 軽い体操	48.0% H23:43.5% 1位	器具を使った トレーニング	13.6% H23:10.1% 3位	水泳	11.3% H23:10.4% 2位
	10～14歳	水泳	45.7%	ジョギング・マ ラソン	35.9%	ウォーキング・ 軽い体操	35.7%
	15～24歳	ウォーキング・ 軽い体操	36.9%	ボウリング	27.2%	ジョギング・マ ラソン	21.5%
	25～34歳	ウォーキング・ 軽い体操	42.6%	ボウリング	17.2%	ジョギング・マ ラソン	13.8%
	35～44歳	ウォーキング・ 軽い体操	49.6%	水泳	17.2%	ボウリング	16.6%
	45～54歳	ウォーキング・ 軽い体操	49.9%	器具を使った トレーニング	15.4%	登山・ハイキ ング	12.1%
	55～64歳	ウォーキング・ 軽い体操	56.1%	器具を使った トレーニング	18.3%	登山・ハイキ ング	11.7%
	65～74歳	ウォーキング・ 軽い体操	58.2%	登山・ハイキ ング	14.1%	器具を使った トレーニング	11.8%
	75歳以上	ウォーキング・ 軽い体操	41.1%	器具を使った トレーニング	7.9%	登山・ハイキ ング	3.7%

3 趣味・娯楽

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は 508 万7千人で、行動者率は 90.6%となり、全国平均の 87.0%を上回り全国1位となった。平成 23 年と比べると 4.4 ポイントの増加となっている。行動者率は男性が平成 23 年より 4.5 ポイント増加した結果、女性よりも男性の方が高くなっている。〔表4〕

表4 「趣味・娯楽」の行動状況

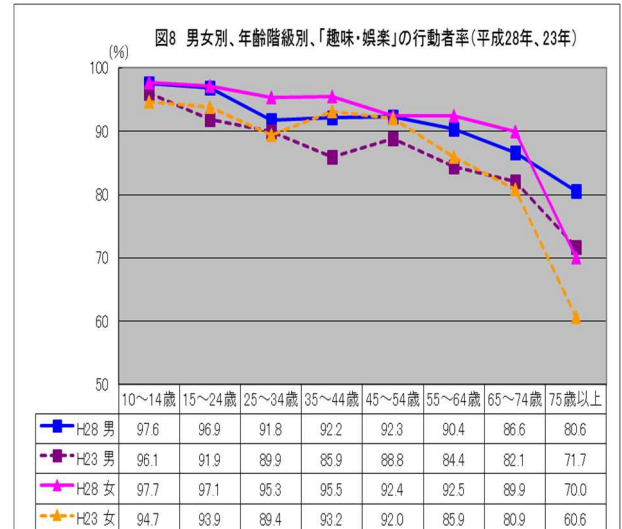
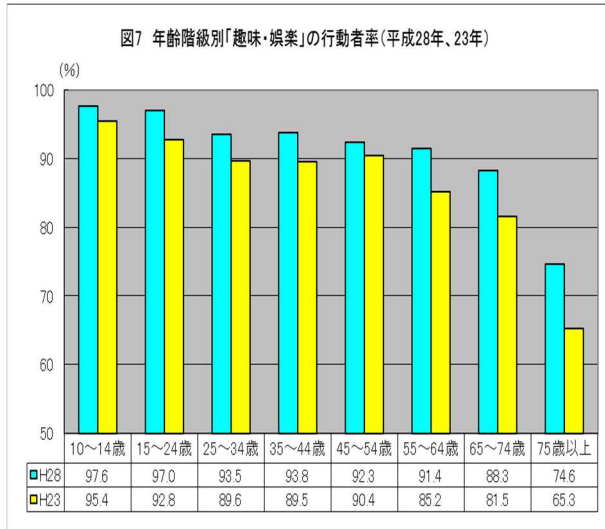
	10歳以上推定人口（千人）			行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	5,614	5,584	30	5,087	4,812	275	90.6	86.2	4.4
男	2,795	2,783	12	2,534	2,398	136	90.7	86.2	4.5
女	2,819	2,801	18	2,553	2,413	140	90.6	86.2	4.4
男女差	-24	-18	-6	-19	-15	-4	0.1	0	0.1

（参考）行動者率の全国順位

	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
平成 28 年	千葉県	90.6%	東京都 神奈川県	90.1%			1位	90.6%	87.0%
平成 23 年	神奈川県	88.7%	東京都	88.5%	埼玉県	87.9%	8位	86.2%	84.8%

年齢階級別に「趣味・娯楽」の行動者率をみると、10～14歳が97.6%と最も高くなっている。平成 23 年と比較すると、全ての年代で行動者率が増加しており、特に 75 歳以上で 9.3 ポイントと最も増加している。〔図7〕

これを男女別にみると、全体の行動者率と同様に男女とも10～14歳が最も割合が高くなっている(男性97.6%、女性97.7%)。平成23年と比較すると、男女とも全ての年代で増加しており、最も増加しているのは、ともに75歳以上(男性8.9ポイント、女性9.4ポイント)となっている。〔図8〕



男女別に「趣味・娯楽」の種類別の行動者率をみると、男女とも「映画館以外での映画鑑賞」の割合が最も高く、上位3位を平成23年と比較すると、項目にさほど大きな変化はないが、行動者率はそれぞれ上がっている。

また、年齢階級別にみると、10～14歳では「テレビゲーム・パソコンゲーム」、15～44歳では「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」、45～64歳では「映画館以外での映画鑑賞」、65歳以上では、「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も高くなっている。〔表5〕

表5 男女別、年齢階級別「趣味・娯楽」の種類別行動者率の順位(平成28年) ※「その他」を除く

		1 位		2 位		3 位	
総数	総数	映画館以外での映画鑑賞	57.9% H23:41.4% 3位	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	53.3% H23:48.9% 1位	映画館での映画鑑賞	45.1% H23:38.5% 4位
	10～14歳	テレビゲーム・パソコンゲーム	79.8%	映画館での映画鑑賞	79.1%	映画館以外での映画鑑賞	71.1%
	15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	85.4%	映画館での映画鑑賞	76.7%	映画館以外での映画鑑賞	73.1%
	25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	74.8%	映画館以外での映画鑑賞	66.6%	テレビゲーム・パソコンゲーム	61.8%
	35～44歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	69.0%	映画館以外での映画鑑賞	66.8%	テレビゲーム・パソコンゲーム	55.0%
	45～54歳	映画館以外での映画鑑賞	63.4%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	59.7%	映画館での映画鑑賞	45.7%
	55～64歳	映画館以外での映画鑑賞	54.4%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	46.5%	趣味としての読書	44.6%

		1 位		2 位		3 位	
総数	65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	51.1%	映画館以外での映画鑑賞	47.6%	趣味としての読書	44.7%
	75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	38.1%	趣味としての読書	30.5%	映画館以外での映画鑑賞	28.6%
男	総数	映画館以外での映画鑑賞	57.8% H23: 40.0% 2 位	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	53.7% H23: 46.0% 1 位	テレビゲーム・パソコンゲーム	43.0% H23: 39.6% 3 位
	10～14歳	テレビゲーム・パソコンゲーム	84.5%	映画館での映画鑑賞	77.9%	映画館以外での映画鑑賞	73.6%
	15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	82.2%	テレビゲーム・パソコンゲーム	73.3%	映画館での映画鑑賞	72.9%
	25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	74.0%	テレビゲーム・パソコンゲーム	67.9%	映画館以外での映画鑑賞	61.7%
	35～44歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	65.5%	映画館以外での映画鑑賞	62.9%	テレビゲーム・パソコンゲーム	58.3%
	45～54歳	映画館以外での映画鑑賞	61.2%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	58.6%	趣味としての読書	40.0%
	55～64歳	映画館以外での映画鑑賞	57.3%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	47.8%	趣味としての読書	40.1%
	65～74歳	映画館以外での映画鑑賞	49.5%	園芸・庭いじり・ガーデニング	43.8%	趣味としての読書	42.4%
	75歳以上	趣味としての読書	35.3%	園芸・庭いじり・ガーデニング	34.4%	映画館以外での映画鑑賞	33.0%
	女	総数	映画館以外での映画鑑賞	58.0% H23: 42.7% 3 位	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	52.9% H23: 51.7% 1 位	映画館での映画鑑賞
10～14歳		映画館での映画鑑賞	80.4%	テレビゲーム・パソコンゲーム	74.8%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	69.8%
15～24歳		CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	88.9%	映画館での映画鑑賞	80.8%	映画館以外での映画鑑賞	77.0%
25～34歳		CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	75.7%	映画館以外での映画鑑賞	71.8%	遊園地、動植物園、水族館などの見物	66.7%
35～44歳		CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	72.8%	映画館以外での映画鑑賞	70.9%	映画館での映画鑑賞	60.4%
45～54歳		映画館以外での映画鑑賞	65.7%	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	60.9%	映画館での映画鑑賞	52.3%
55～64歳		映画館以外での映画鑑賞	51.4%	園芸・庭いじり・ガーデニング	51.1%	趣味としての読書	49.0%
65～74歳		園芸・庭いじり・ガーデニング	57.8%	趣味としての読書	46.9%	映画館以外での映画鑑賞	45.8%
75歳以上		園芸・庭いじり・ガーデニング	40.9%	趣味としての読書	26.9%	映画館以外での映画鑑賞	25.2%

4 ボランティア

過去1年間に何らかの「ボランティア」を行った人は 141 万4千人で、行動者率は 25.2%となっている。これは全国平均の 26.0%を下回っており、平成 23 年と比べて 0.8 ポイント減少している。行動者率は男性よりも女性の方が高いが、男性は平成 23 年より増加しており、男女差は縮小している。〔表6〕

表6 「ボランティア」の行動状況

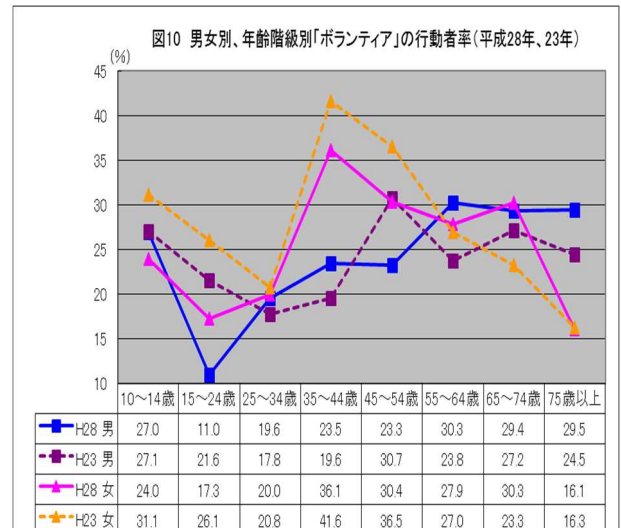
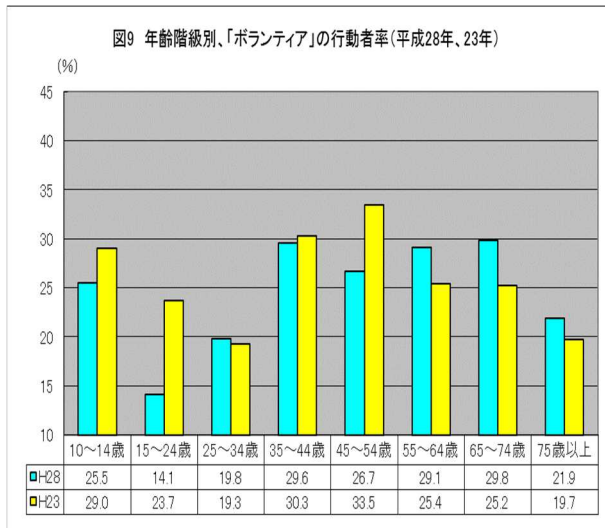
	10歳以上推定人口（千人）			行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	5,614	5,584	30	1,414	1,449	-35	25.2	26.0	-0.8
男	2,795	2,783	12	676	656	20	24.2	23.6	0.6
女	2,819	2,801	18	738	793	-55	26.2	28.3	-2.1
男女差	-24	-18	-6	-62	-137	75	-2.0	-4.7	2.7

（参考）行動者率の全国順位

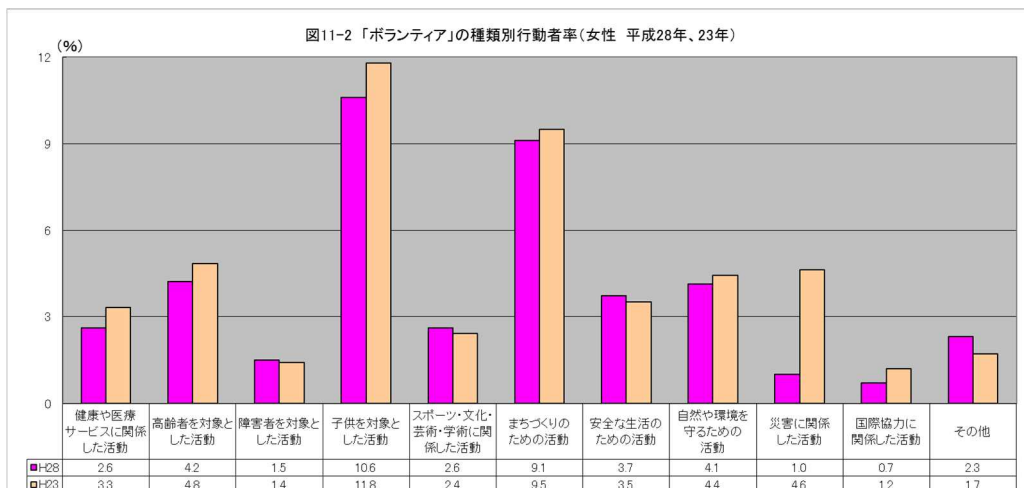
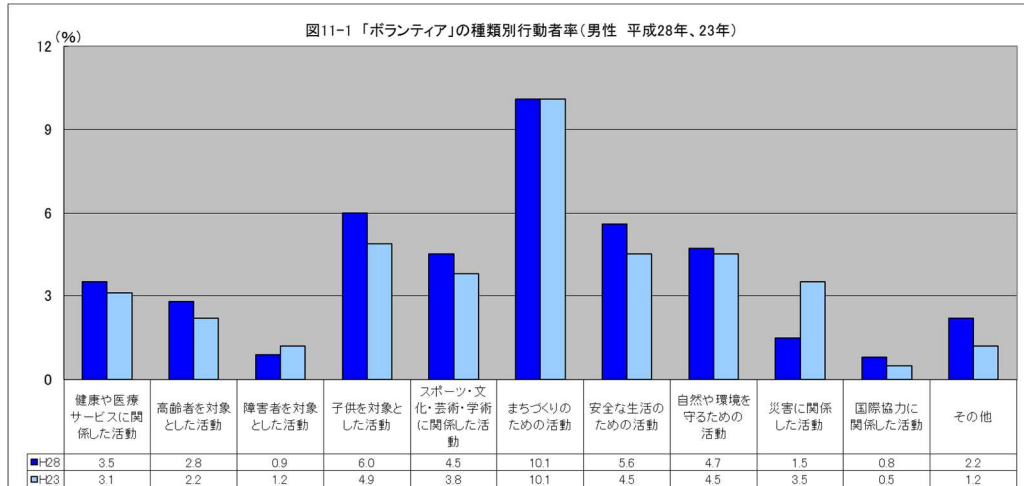
	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
平成 28 年	滋賀県	33.9%	岐阜県	33.4%	島根県	33.1%	36位	25.2%	26.0%
平成 23 年	山形県	35.3%	島根県	34.8%	鹿児島県	34.4%	32位	26.0%	26.3%

年齢階級別に「ボランティア」の行動者率をみると、65～74歳が29.8%と最も高くなっている。平成23年と比較すると、10～14歳、15～24歳、35～44歳及び45～54歳で減少しており、特に15～24歳が9.6ポイントと最も減少している。〔図9〕

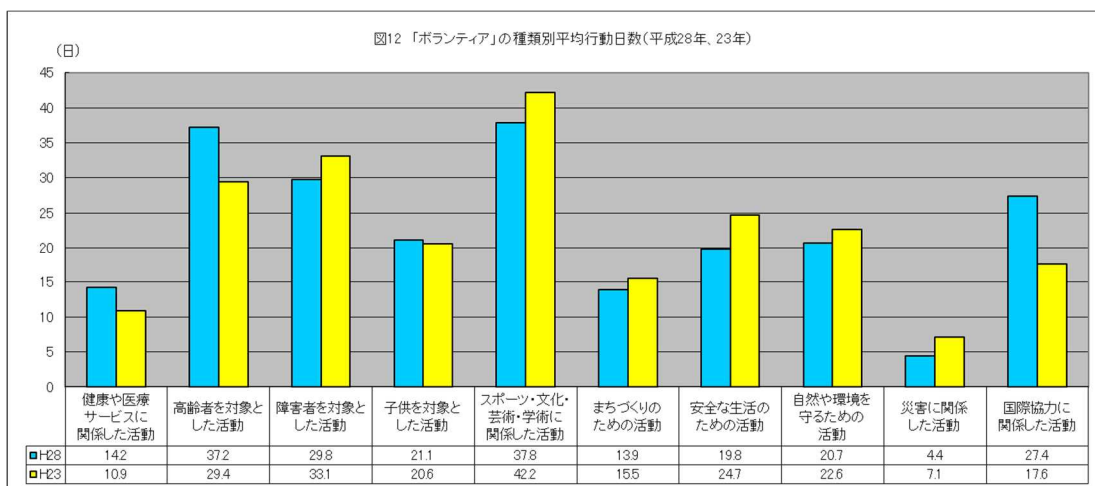
これを男女別にみると、男性では55～64歳の30.3%、女性では35～44歳の36.1%が最も高くなっている。平成23年と比較すると、最も増加しているのは、男性が55～64歳の6.5ポイント、女性が65～74歳の7.0ポイントとなっており、最も減少しているのは、男女とも15～24歳（男性10.6ポイント、女性8.8ポイント）となっている。〔図10〕



男女別に「ボランティア」の種類別の行動者率をみると、男性では「まちづくりのための活動」が 10.1%で最も高く、女性では「子供を対象とした活動」が 10.6%で最も高い。平成 23 年と比較すると、男女とも「災害に関係した活動」が最も減少(男性 2.0ポイント、女性 3.6ポイント)している。〔図 11-1・11-2〕



「ボランティア」の種類別の平均行動日数をみると、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が 37.8 日と最も多く、平成 23 年と比較すると、「国際協力に関係した活動」が 9.8 日と最も増加している。〔図 12〕



5 旅行・行楽

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は 434 万3千人で、行動者率は 77.4%となっている。これは全国平均の 73.5%を上回り、平成 23 年と比べて 3.2 ポイントの増加となっている。行動者率は男性よりも女性の方が高く、男女とも平成 23 年より増加しており男女差にほとんど変化はなかった。〔表7〕

表7 「旅行・行楽」の行動状況

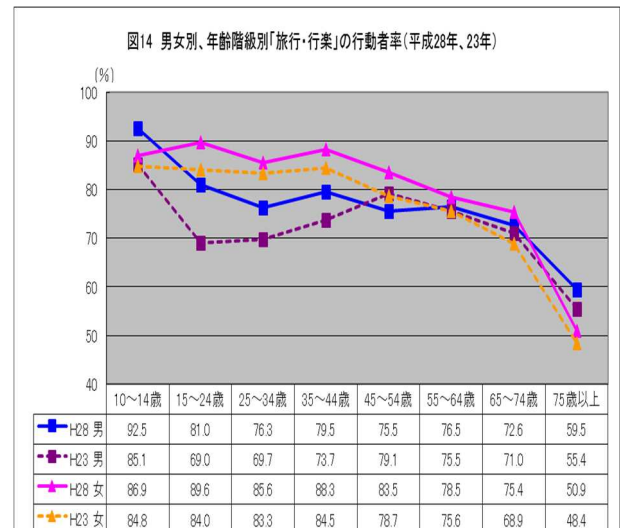
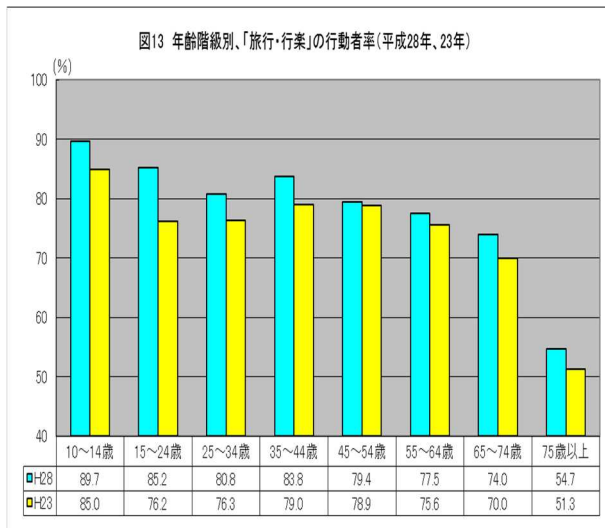
	10歳以上推定人口（千人）			行動者数（千人）			行動者率（%）		
	H28	H23	増減	H28	H23	増減	H28	H23	増減
総数	5,614	5,584	30	4,343	4,142	201	77.4	74.2	3.2
男	2,795	2,783	12	2,117	2,016	101	75.7	72.4	3.3
女	2,819	2,801	18	2,226	2,126	100	78.9	75.9	3.0
男女差	-24	-18	-6	-109	-110	1	-3.2	-3.5	0.3

（参考）行動者率の全国順位

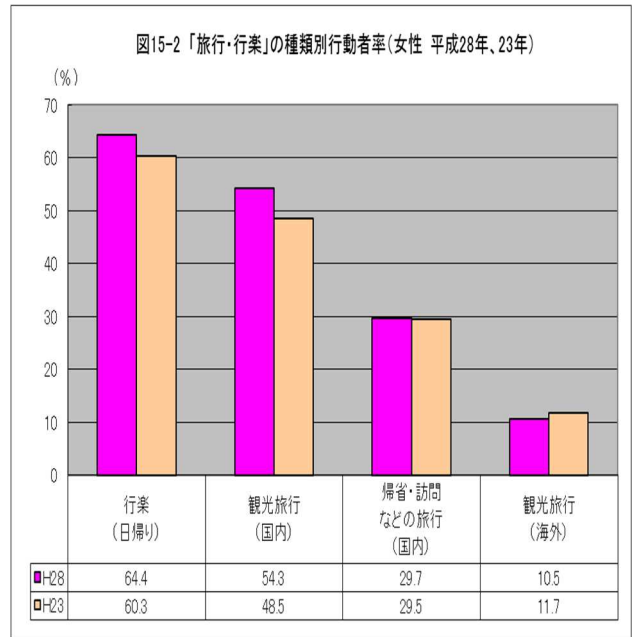
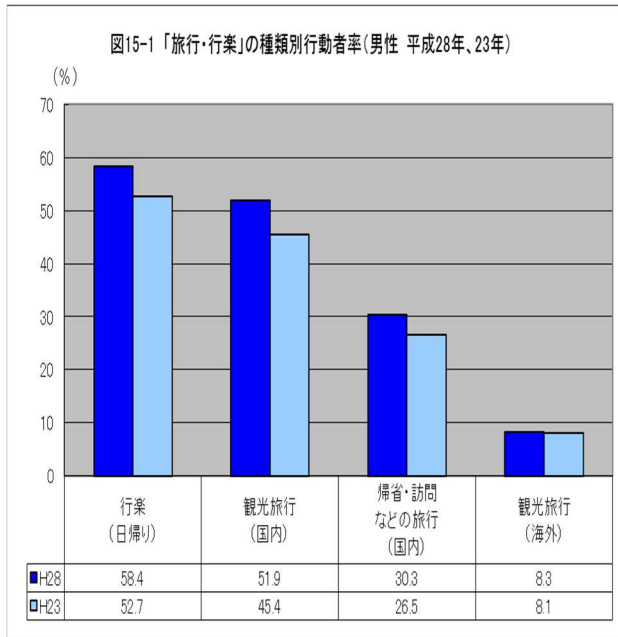
	1位		2位		3位		千葉県の位置		全国平均
平成 28 年	東京都 愛知県	78.5%			神奈川県	78.0%	6位	77.4%	73.5%
平成 23 年	滋賀県	79.0%	神奈川県	78.3%	愛知県	77.6%	15位	74.2%	73.2%

年齢階級別に「旅行・行楽」の行動者率をみると、10～14歳が89.7%と最も高くなっている。平成 23 年と比較すると、全ての年代で増加しており、特に 15～24 歳で 9.0 ポイントと最も増加している。〔図 13〕

これを男女別にみると、男性では 10～14 歳の 92.5%、女性では 15～24 歳の 89.6%が最も高くなっている。平成 23 年と比較すると、最も増加しているのは、男性が 15～24 歳の 12.0 ポイント、女性が 65～74 歳の 6.5 ポイントとなっており、減少しているのは、男性の 45～54 歳の 3.6 ポイントのみとなっている。〔図 14〕



男女別に「旅行・行楽」の種類別の行動者率をみると、男女とも「行楽(日帰り)」が最も高く(男性 58.4%、女性 64.4%)、「帰省・訪問などの旅行」以外では男性よりも女性の割合が高い。平成 23 年と比較すると、女性の「観光旅行(海外)」を除いて増加している。〔図 15-1・15-2〕



「旅行・行楽」の頻度別に行動者率をみると、「年 10 回以上」が 25.3%と最も高く、平成 23 年と比較すると、「年2回」「年5回」「年8～9回」以外で増加している。〔図 16〕

